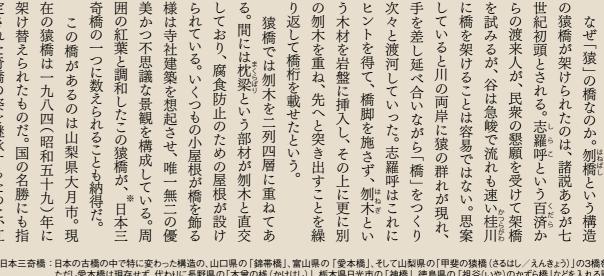
建設×史材



山梨県大月市猿橋町



定された奇橋の姿を継承するために、江架け替えられたものだ。国の名勝にも指

撮影:西山芳一(表紙、並びに当ページ) なぎ、体を支え合って渡ったのかと想像 使用し、鉄骨造木装となっている。長さ 刎木はH鋼に木材を貼り付けた部材を すると微笑まし 類の出来形帳を参考に復元された。 志羅呼は別名を路子工(み ちのこたくみ)と称する。造 園技術に長けた土木技術 者であったという説がある。7 世紀初頭、日本に帰化した 川面からの高さ 後、各地で造園や橋梁建設 に携わった。野猿に教えられ る前に、生誕地の百済で既 に刎橋の構造に開眼してい たのかもしれない。同様の橋 はインド、ネパールなどにその 原型が今も残されている。